



しなのキャンパススタッフ研修①
兵庫県立 神出学園・見学
2013年1月24日(木)

待つこと
信じること
秘めること

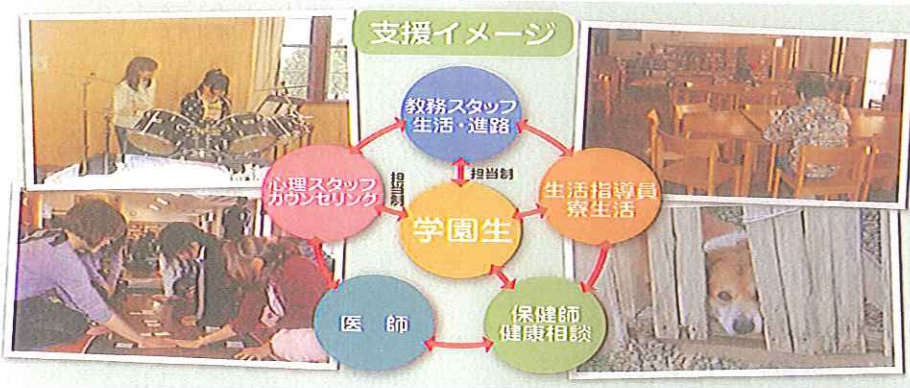
神出学園長
小林 剛

2013. 1. 24

「なんて素敵なところなんだろう」神出学園の広大な敷地に足を踏み入れた瞬間、自分の中に爽やかな風が吹き抜け、わくわく感が湧きあがってきました。神出学園見学スタートです。学園長小林剛先生(戸隠のご出身)に学園をご案内いただきながら、まず感じたことは、なんて、心がホッとする場所なんだろう。ということでした。恵まれた自然環境はもとより、学園生ひとりひとりの存在は大きくて、周りの先生方や学園の全ての方々の大切な想いと共にあることを感じました。神出学園で見ていただいたことのミニレポートをお届けします。(いさかさ、作り手の主観によります)

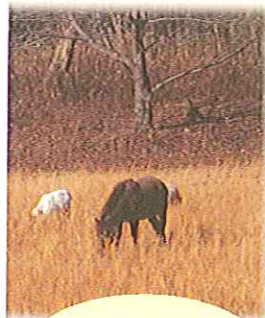
神出学園ってどんなところ?

全国で、たった一つの公立フリースクールです。不登校等によって、進路発見が困難な状況にありながらも、自分の生き方や進路を見つきたいという意欲を持つ人を、様々な体験学習や寮での共同生活を通じて支援されています。在籍期間は2年間、プログラムは自分が希望するものを(スポーツ、PC、学習、動物飼育、農園、音楽、華道などなど)組み合わせることが出来、自分のペースでやりたいことができます。先生方は主に教務面のスタッフ、心理面のスタッフがいらっしゃり、とすれば個人情報として自分で抱え込んでしまいそうな学園生の悩みなどの情報を共有し、いろいろな角度からたくさんの人の関わりとコミュニケーションの中で一人の学園生を支援しています。まさに、「指導」ではなく「支援」の場所と感じました。



支援目標(平成24年度学校要覧より抜粋)

- (1) 自己理解を深める
恵まれた自然の中で、様々な活動やカウンセラー等との個別相談を通して、深く自分を見つめ、自己理解が一層深まるよう支援します。
- (2) 対人関係能力を伸ばす
共同生活による仲間やスタッフとの全人格的なふれあいをを通して、対人関係能力を伸ばし、豊かな人間関係が構築できるよう支援します。
- (3) 自立心を身につける
様々な自主活動や寮生活を通して、自主性や自立心が身につくよう支援します。
- (4) 適切な進路選択ができる
様々な体験活動を通して、自らの興味・関心や能力・適性への理解を深め、自分に適した進路が見つけられるように支援します。



神出に来て私は「待つこと」を学びました
A先生のお話より



心を充電出来る癒しの空間がありました。
学園のあらゆる場所にベンチが。



しなキャンスタッフの声

人は、平面じゃない。心の中も、そんなに単純じゃないかもしれない。いろいろな面もあるから、一人の人が他者について「こういう人」と決めつけることは出来ない。神出学園では、先生方が連携とコミュニケーションの中で、学園生を支援されている。専門家である人同士、そのプライドとかは全然関係なくて、いつも中心に居るのは、学園生のこと。



馬のゆず、
犬のつばき、
たくさんの動物たちは
神出の大切な仲間

「神出の僕ら」

飛べればいまいで
気持ちはもうの
「あつた君は」
「みつけた居場所を」
「飛べるはずだ」と
「僕は言った」
「飛べない鳥に」
（中略）
励まし合おう
でもみんな
落ち込んで
ほら誰かが
落ち込んで
でもみんな
励まし合おう

「神出の僕ら」のCD制作（こころ豊かに第17号より抜粋）

学園にやって来た頃、学園生の多くは、「泣いてばかりで飛ぼうとしない鳥を見ていた。僕も泣いていた」、こんな気持ちの人も多かったのではないのでしょうか。そして学園で過ごす時間を積み重ねる中で仲間や居場所を見つけ、「飛べない鳥に。僕は言った『君は必ず飛べるはずだ』」と、自分に自信を持ち始めていく心の軌跡

～後略～
（「神出の僕ら」は、女子学園生が自身の心の軌跡を詩に表したもので、そこに音楽の先生が曲をつけて完成させたそうです。いつまでも歌い続けてほしい、という願いの元に昨年CDが作成されました。）

カウンセリングルーム

心の中にあることを表出できる空間です。
～ふと、もしも、今の自分だったら、どんな箱庭が出来あがるんだろう、と思いました～



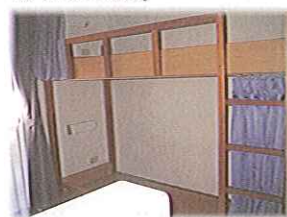
木工・陶芸工房

時間を忘れて、もの作りに没頭することが出来る場所がありました。木のベンチは学園生の作品です。



男子寮

清潔で、明るくて、気持ちの良い寮です。最初から皆の輪に入れる人ばかりではないので、個室のシャワーもあります。また、しんどい時、いつでもごろ寝が出来る共有スペースやベンチもありました。



食堂

おしゃれな食堂の家具は、温かくて、丸みのある北欧製。食育にも力を注がれ、食べることから、学園生の元気を応援しています。時に、一人の時間が欲しい時には壁向きの席もあります。



この度の研修は、しなのキャンパス副代表・北島由美先生の叔父様で学園長の小林剛先生のご厚意により実現いたしました。小林先生をはじめ皆様、本当にありがとうございました。

しなのキャンスタッフの声

公立だから、私立と違って先生がたは3～4年で入れ替わっていくのに、学園の理想や理念が受け継がれていっている。地域の方々が学園を支えてくださっている。また、交流があるといいなあ。と思いました。

しなのキャンスタッフの声

学園の皆様のお真摯なお姿に触れ、20年間続けてきた仕事に対しても自分の姿を見つめ直す時間をいただきました。愛すること、信じること、待つことを胸に刻み、日々精進していきたいです。